

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第12週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (12週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。  
4類感染症：報告なし。5類感染症：アメーバ赤痢1例、急性脳炎4例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	結核性胸膜炎	症状なし
		都城	80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
		高鍋	70歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	30歳代	女	腸管アメーバ症	大腸粘膜異常所見、便潜血陽性
	急性脳炎	宮崎市	0~4歳	女	病原体不明	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害
			0~4歳	男	病原体不明	発熱、痙攣、意識障害
			5~9歳	男	インフルエンザウイルスA	発熱、痙攣、意識障害
5~9歳			男	インフルエンザウイルスA	発熱、痙攣、意識障害	

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,508人(定点当たり36.4)で、前週比72%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は流行性角結膜熱で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

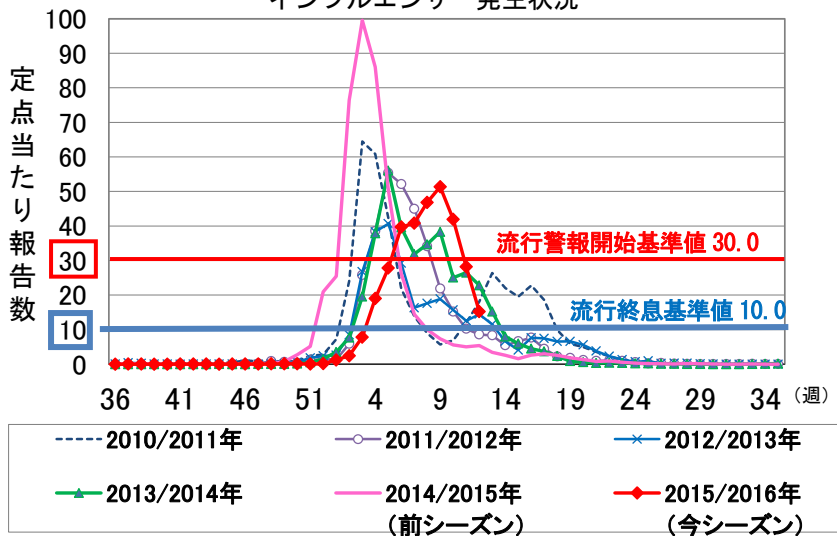
#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【インフルエンザ】

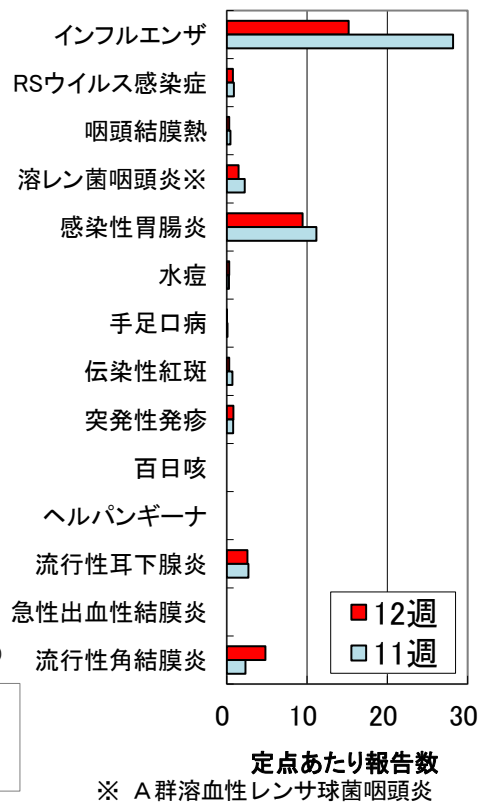
・報告数は896人(15.2)で、前週比54%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値\*(13.4)の約1.1倍であった。年齢群別では5歳未満が全体の20%、5-9歳が33%、10-14歳が23%、15-19歳が4%、20-59歳が16%、60歳以上が4%を占めた。詳細後述。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

インフルエンザ 発生状況

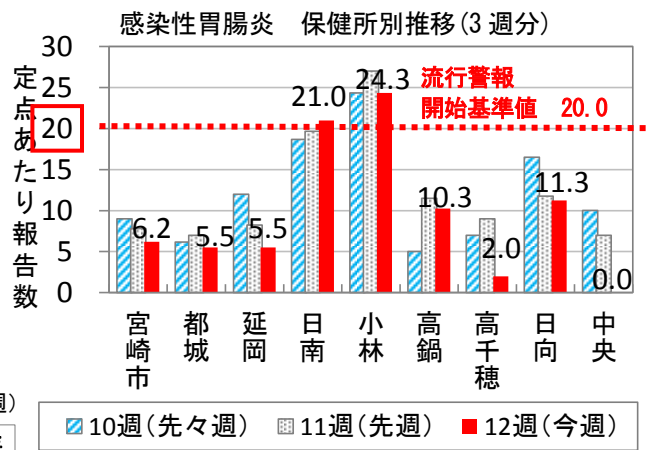
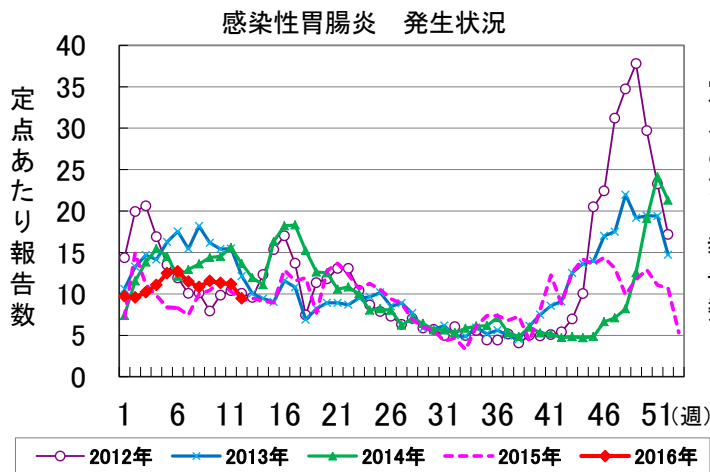


### 《前週との比較》



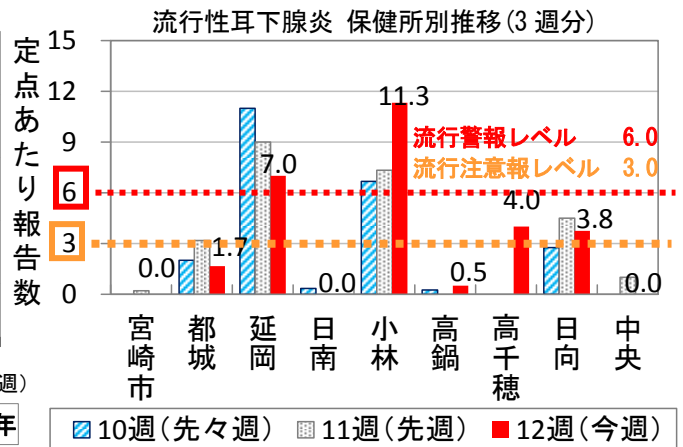
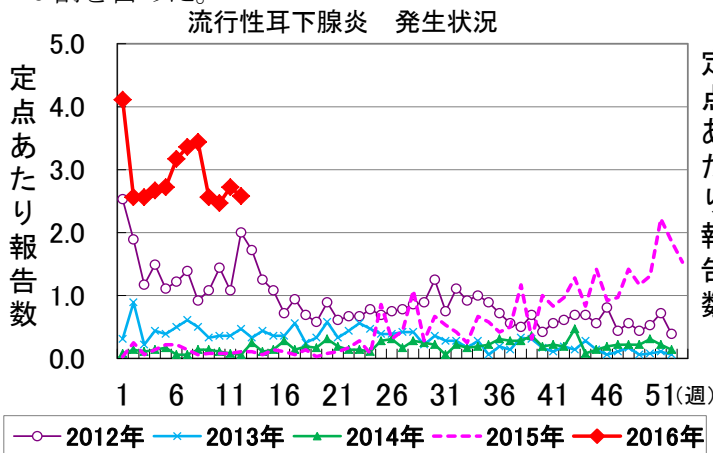
##### 【感染性胃腸炎】

・報告数は341人(9.5)で、前週比85%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(13.0)の約0.7倍であった。小林(24.3)、日南(21.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1~5歳が全体の約6割を占めた。



#### 【流行性耳下腺炎】

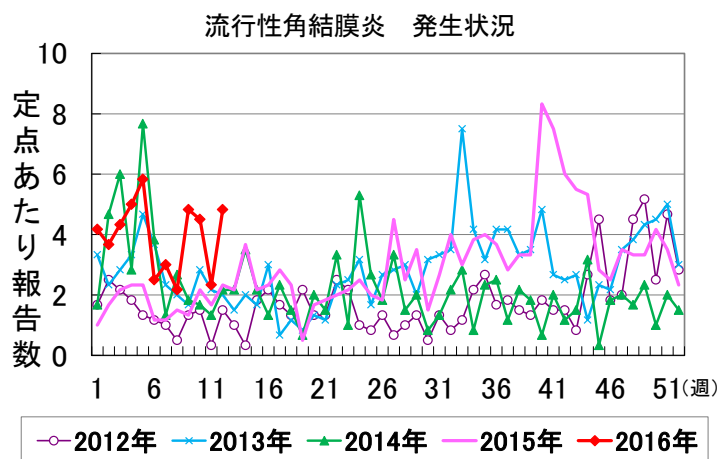
・報告数は93人(2.6)で、前週比95%とやや減少した。例年同時期の定点あたり平均値\*(0.88)の約2.9倍であった。小林(11.3)、延岡(7.0)保健所からの報告が多く、年齢別では3~5歳が全体の約6割を占めた。



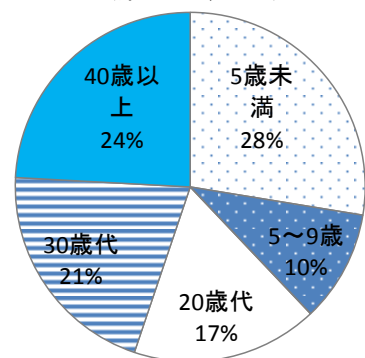
#### ★眼科定点からの報告★

#### 【流行性角結膜炎】

・報告数は29人(4.8)で、前週比207%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(1.8)の約2.7倍であった。都城(9.5)保健所からの報告が多く、年齢別割合はグラフに示す。



流行性角結膜炎 年齢別割合 (第12週, n=29)



#### ★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：宮崎市保健所から2例報告があった。0~4歳及び5~9歳が各1例ずつであった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(16.6)
都城	インフルエンザ(16.0)、流行性角結膜炎(9.5)
延岡	インフルエンザ(16.7)、流行性耳下腺炎(7.0)
日南	インフルエンザ(15.8)、感染性胃腸炎(21.0)
小林	インフルエンザ(14.4)、感染性胃腸炎(24.3)、 流行性耳下腺炎(11.3)
高鍋	インフルエンザ(15.0)
高千穂	インフルエンザ(11.0)、流行性耳下腺炎(4.0)
日向	流行性耳下腺炎(3.8)
中央	インフルエンザ(20.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)
- ・流行性角結膜炎(8.0)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10.0)
- ・流行性耳下腺炎(3.0)

□ 病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 28 年 3 月 28 日までに検出）

★細菌

報告なし

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状等	材料	検出日
ノロウイルスGⅡ型	0～4歳	女	2016.02.10	ノロウイルス、胃腸炎(下痢)	便	2016.03.24
インフルエンザAH1pdm09型	0～4歳	女	2016.02.08	インフルエンザA型、39.4℃ 上気道炎	鼻汁	2016.03.15
インフルエンザAH1pdm09型	0～4歳	男	2016.02.10	インフルエンザA型、38.5℃ 上気道炎	鼻汁	2016.03.25
インフルエンザAH1pdm09型	5～9歳	男	2016.02.10	インフルエンザA型、39.4℃	鼻汁	2016.03.25
インフルエンザAH1pdm09型	5～9歳	男	2016.02.26	インフルエンザ、38.9℃ 上気道炎、咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2016.03.15
インフルエンザAH1pdm09型	5～9歳	男	2016.02.29	インフルエンザ、39℃ 上気道炎	咽頭ぬぐい液	2016.03.15
インフルエンザAH1pdm09型	10歳代	男	2016.03.07	インフルエンザA型、39.5℃ 上気道炎	咽頭ぬぐい液	2016.03.25
インフルエンザAH1pdm09型	5～9歳	女	2016.03.08	インフルエンザA型、39.8℃ 下気道炎、咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2016.03.25
インフルエンザAH1pdm09型	5～9歳	女	2016.03.08	インフルエンザA型、発熱	鼻汁	2016.03.25
インフルエンザAH1pdm09型	0～4歳	女	2016.03.09	インフルエンザA型、40.4℃ 上気道炎	咽頭ぬぐい液	2016.03.25
インフルエンザAH1pdm09型	5～9歳	女	2016.03.11	インフルエンザA型、39.5℃ 上気道炎	咽頭ぬぐい液	2016.03.25
インフルエンザB型 (山形系統)	5～9歳	女	2016.02.29	インフルエンザB型、発熱 上気道炎、咳	咽頭ぬぐい液	2016.03.15
インフルエンザB型 (山形系統)	5～9歳	女	2016.02.29	インフルエンザB型、38.8℃ 上気道炎、咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2016.03.15
インフルエンザB型 (山形系統)	10歳代	女	2016.03.11	インフルエンザB型、38.8℃ 上気道炎	咽頭ぬぐい液	2016.03.25

○インフルエンザと診断された13名の咽頭ぬぐい液及び鼻汁からインフルエンザウイルス AH1pdm09型10件、B型(山形系統)3件が検出された。現在までの本県におけるインフルエンザの検出数は、AH1pdm09型16件、AH3型1件、B型(ビクトリア系統)8件、B型(山形系統)5件である。定点医療機関当たりの患者報告数は減少傾向にあるが、引き続き注意する必要がある。

○胃腸炎の乳児からノロウイルスGⅡ型を検出した。ノロウイルスは、症状消失後3～7日間ほど患者便の中に排出されるため、二次感染に注意する必要がある。

## ✚ 全国 2016 年第 11 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（全国第 11 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	337 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	7 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E 型肝炎	2 例	A 型肝炎	11 例	デング熱	4 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	17 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	10 例
	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例
	後天性免疫不全症候群	22 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	31 例	水痘（入院例）	1 例
	梅毒	28 例	播種性クリプトコックス症	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	風しん	1 例	麻しん	1 例		

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 81%と減少した。前週と比較して増加した主な疾患はヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は104,107人(21.1)で前週比75%と減少した。愛媛県(35.7)、北海道(31.8)、高知県(30.8)からの報告が多い。年齢群別では5歳未満が19%、5-9歳が35%、10-14歳が19%、15-19歳が4%、20-59歳が18%、60歳以上が5%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2016年 第12週(3月21日～3月27日)

疾病名		第11週	第12週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1664	896	266	160	117	79	72	90	22	50	40
	定点あたり	28.20	15.19	16.63	16.00	16.71	15.80	14.40	15.00	11.00	8.33	20.00
RSウイルス 感染症	報告数	32	28	9	5	3	2	3	1		4	1
	定点あたり	0.89	0.78	0.90	0.83	0.75	0.67	1.00	0.25	0.00	1.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	17	12	5	4		3					
	定点あたり	0.47	0.33	0.50	0.67	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	81	53	21	5	2	12	3	4		4	2
	定点あたり	2.25	1.47	2.10	0.83	0.50	4.00	1.00	1.00	0.00	1.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	402	341	62	33	22	63	73	41	2	45	
	定点あたり	11.17	9.47	6.20	5.50	5.50	21.00	24.33	10.25	2.00	11.25	0.00
水痘	報告数	10	11	3	1	2	1	4				
	定点あたり	0.28	0.31	0.30	0.17	0.50	0.33	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	4	1	1								
	定点あたり	0.11	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	26	12	5	3	1		1	1			1
	定点あたり	0.72	0.33	0.50	0.50	0.25	0.00	0.33	0.25	0.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	29	30	8	3	6	4	2	4		2	1
	定点あたり	0.81	0.83	0.80	0.50	1.50	1.33	0.67	1.00	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	98	93		10	28		34	2	4	15	
	定点あたり	2.72	2.58	0.00	1.67	7.00	0.00	11.33	0.50	4.00	3.75	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	29	10	19							
	定点あたり	2.33	4.83	3.33	9.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	2										
	定点あたり	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	4	2	2								
	定点あたり	0.57	0.29	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2016年第1週～12週)

2類感染症	結核	45例(3)			
4類感染症	A型肝炎	3例	つつが虫病	4例	
5類感染症	アメーバ赤痢	5例(1)	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例	急性脳炎
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅毒
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	1例	

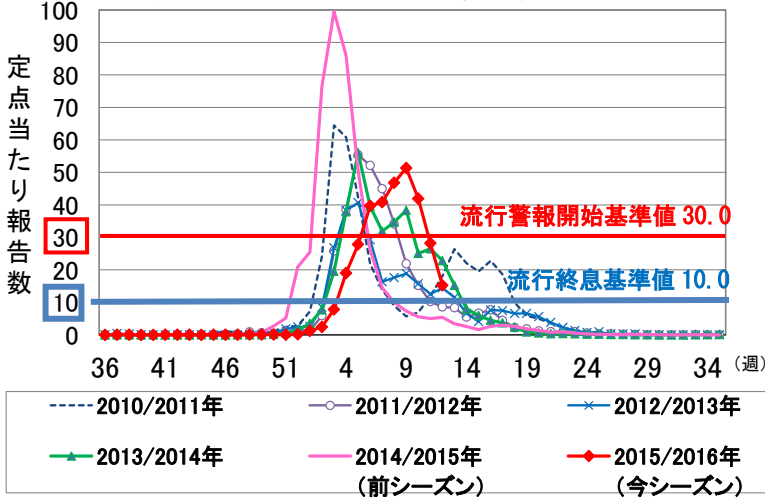
( )内は今週届出分、再掲

# インフルエンザ情報《県内第12週、全国第11週（再掲）》

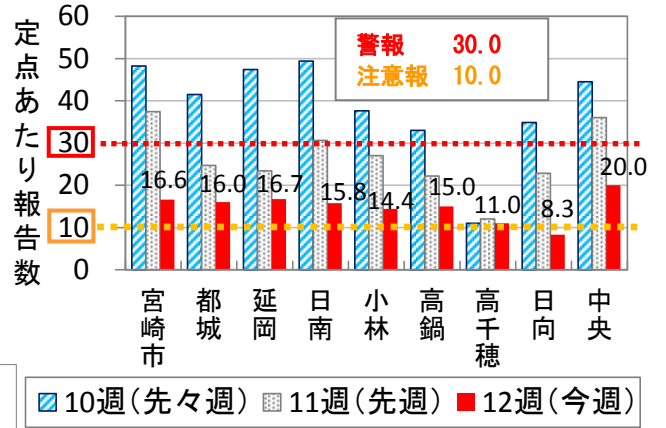
## □ 県内第12週インフルエンザ発生動向

2016年3月21日～3月27日までの1週間で896人（定点あたり15.2）の報告があった。前週の約0.5倍と減少し、例年同時期の定点あたり平均値\*（13.4）の約1.1倍であった（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢別では5歳未満が全体の20%、5-9歳が33%、10-14歳が23%、15-19歳が4%、20-59歳が16%、60歳以上が4%を占めた（図3）。

（図1）インフルエンザ発生状況



（図2）インフルエンザ保健所別推移（第10～12週）

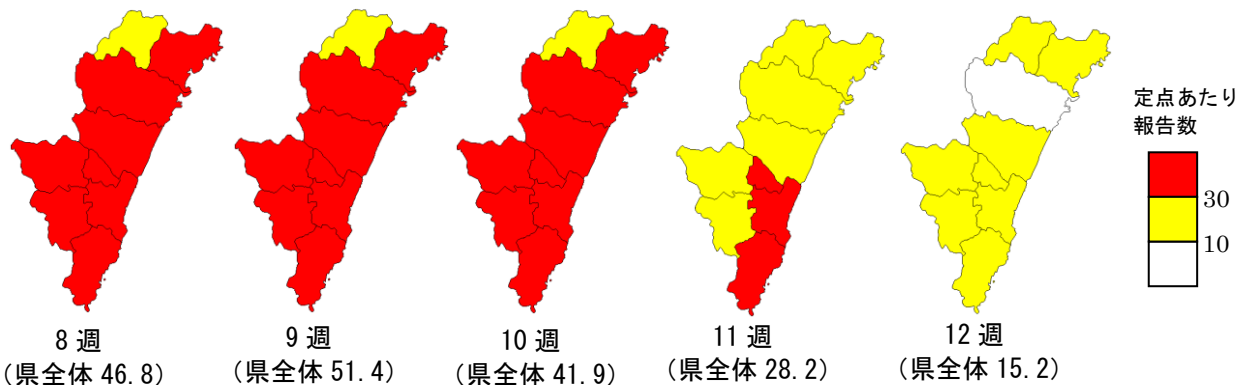


（図3）年齢群別割合の推移（第8～12週）

8週 2,762人	24%	41%	16%	3%	13%	3%
9週 3,030人	22%	39%	19%	3%	13%	4%
10週 2,472人	23%	38%	19%	3%	13%	3%
11週 1,664人	24%	34%	23%	3%	13%	3%
12週 896人	20%	33%	23%	4%	16%	4%

□ 5歳未満 ■ 5～9歳 ▨ 10～14歳 ■ 15～19歳 □ 20～59歳 ■ 60歳以上

保健所別インフルエンザ警報・注意報レベル状況 第8～12週



## □ 全国第11週インフルエンザ発生動向

2016年3月14日～3月20日までの1週間で104,107人（21.1）で前週比75%と減少した。愛媛県（35.7）、北海道（31.8）、高知県（30.8）からの報告が多い。年齢群別では5歳未満が19%、5-9歳が35%、10-14歳が19%、15-19歳が4%、20-59歳が18%、60歳以上が5%であった。